

(報告者：手塚, 2011年3月17日)

科研費・基盤研究A

「フィールドワーク方法論の体系化」

I. 役割分担

1. (役割分担等) データ分析の体系化, 海外地域のフィールドワーク研究
2. (本年度の研究計画) 先行研究の探索, フランス語圏担当, [追加: ドイツ語圏]

II. 本年度の研究経過

1. 2010年8月2日(月)～8月6日(金): (ドイツ) ライプツィヒで文献調査
2. 2010年8月6日(金)～8月11日(水): (フランス) パリで文献調査

III. 研究の方向性

1. 前提としての学史的なパースペクティブ

→ 地理学におけるフィールドワーク: そのパラダイムシフト

- (1) 博物学の時代 (19世紀～20世紀前半): 博物学的アプローチ
- (2) 社会科学の時代 (20世紀後半): 社会科学的方法
- (3) 人文科学の時代 (20世紀末以降): 人文主義的方法

2. 本年度の調査テーマ

(1) ラッツェルの北アメリカ調査旅行 (1873-75)

[その後の職歴] 1876～1886: ミュンヘン工科大学教授

(1880年: ライプツィヒ大学の招請を辞退)

1886～1904: ライプツィヒ大学教授

[関連する著作] 1876 (教授資格論文): Die chinesische Auswanderung

「中国人移民: 文化・商業地理学的考察」

1876: Städte und Kulturbilder aus Nordamerika.

「北アメリカの都市と文化」

1878: Aus Mexiko: Reiseskizzen aus den Jahren 1874 und 1875. 「メキシコから: 1874/75年の旅行記」

1878-80: Die Vereinigten Staaten von Nord-Amerika. 2 vols. 「アメリカ合衆国」(全2巻)

1882: Anthro-geographie. Vol.1. 「人類地理学」(第1巻)

1885-88: Völkerkunde. 3 vols.

「民族学」(全3巻)

1891: Anthropogeographie. Vol.2. 「人類地理学」(第2巻)

1897: Politische Geographie.

(2) リヒトホーフエンの中国調査旅行 (1868-72)

[その後の職歴] 1877~1883 : ボン大学教授

1883~1886 : ライプツィヒ大学教授

1886~1905 : ベルリン大学教授

[関連する著作] 1877-1911 : China: Ergebnisse eigener Reisen und darauf gegründeter Studien. 5 vols. 「中国 : 調査旅行の成果と考察」 (全5巻)

1886 : Führer für Forschungsreisende. 「調査研究旅行者の手引き」

1907 : Tagebücher aus China. 2 vols. 「中国旅行日記」 (全2巻)

(3) フランスにおける国内のコミューン (集落) 調査のフレームワーク

→ 同一著者によるテキストの比較

1. Chatelain, P. et Browaey, X. (1991) : La France des 36000 communes: Méthode et documents pour une étude locale du territoire. 345 p.

2. Browaey, X. et Chatelain, P. (2011) : Étudier une commune: paysages, territoires, populations, sociétés. 319 p.

---

フランスにおける「コミューン (集落) 調査」のフレームワーク

---

I. Browaey et Chatelain (2011)

II. Chatelain et Browaey (1991)

---

第1部「コミューンと多様な領域」

第1章「地域景観の考察」

項目1 : 都市景観とその変化

項目2 : 農村景観とその変化

項目3 : 景観の自然的構成要素

項目4 : 文化財の保護

項目5 : 環境の課題

項目6 : 地域整備の方向性

第2章「周辺地域との結びつき」

項目7 : 人口の分布状況

項目8 : 都市と農村

項目9 : 地方行政組織での位置づけ

項目10 : 勢力圏・影響圏

項目11 : 通勤圏・労働市場

第1編「どこに？」

第1部「課題」

1 : 地域ネットワークでの位置づけ

2 : 地方行政組織での位置づけ

第2部「分析手段」

1 : 地図を読む

2 : 統計的分類に位置づける

3 : 都市ネットワークに位置づける

第3部「全国的位置づけ」

1 : フランスの地域的多様性

2 : フランスの都市網

3 : フランスの地域区分

第2編「いつ？」

第1部「課題」

第2部「社会と空間」	1：考察の視点
第1章「人口の分析」	2：資料・史料
項目12：変遷（19世紀末以降）	3：地域と時代の枠組み
項目13：人口動態（1954年以降）	第2部「分析手段」
項目14：年齢・性別構成	1：変化（1954年以降）
項目15：その他の人口特性	2：近年の変化（1975-90）
項目16：地域人口の性格づけ	3：近年の景観変化
第2章「社会の特性」	4：変遷（19世紀末以降）
項目17：職業別の構成（1）	第3部「全体的展望」
項目18：職業別の構成（2）	1：人口動態の特性
項目19：職業別の構成（変化）	2：就業構造の変化
項目20：正規・非正規・失業	3：都市化の動向
項目21：所得水準	4：農業景観の変化
項目22：教育水準	第3編「どのように？」
項目23：地域社会の性格づけ	第1部「課題」
項目24：フランス社会の現状	1：労働・企業・通勤
第3章「雇用の調査」	2：コミュニケーションの性格
項目25：集積地域とベッドタウン	3：土地と景観
項目26：居住地と従業地	第2部「分析手段」
項目27：産業・経済システム	1：労働人口と就業地
項目28：事業所	2：住民の職業構成
項目29：企業と住民生活	3：事業所・農家
項目30：企業と地方財政	4：地域計画・プランニング
項目31：観光	5：コミュニケーションの性格づけ
項目32：農業事業体・農民	第3部「考察のスケール」
項目33：全国的な位置づけ	1：全国スケール
第4章「コミュニケーションの性格づけ」	2：10万分の1スケール
第3部「現実とイメージ」	3：2.5万分の1スケール
項目34：写真の利用と撮影	
項目35：ポスターの作成	
項目36：ドキュメンタリービデオの作成	